



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 シナネンホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8132 URL <https://sinanengroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 正毅
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 齋藤 寛吾 TEL 03-6478-7811
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	237,553	0.9	△2,202	—	△1,562	—	△2,164	—
2023年3月期第3四半期	235,397	28.8	△465	—	△230	—	△776	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △1,452百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △1,102百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△198.79	—
2023年3月期第3四半期	△71.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	109,330	51,367	47.0
2023年3月期	101,350	53,631	52.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 51,346百万円 2023年3月期 53,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	75.00	75.00
2024年3月期	—	—	—		
2024年3月期（予想）				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	11.0	△800	—	△200	—	△700	—	△64.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	13,046,591株	2023年3月期	13,046,591株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,169,607株	2023年3月期	2,110,406株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	10,885,840株	2023年3月期3Q	10,923,456株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内エネルギー業界においては、主力の石油類・L Pガスの仕入価格に影響を及ぼす原油価格・プロパンC Pが、主要産油国による協調減産の延長を受けて一時急騰したものの、世界的な温暖化や中国の景気低迷などによる需給の緩みが影響し、前連結会計年度と比べて下落しました。また、電力市場においては、燃料価格の低下と需要の減少により電力需給が安定しており、卸市場価格は低位で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、2027年度の創業100周年に向けて第1四半期連結会計期間から第三次中期経営計画をスタートさせ、「脱炭素社会の実現に貢献する総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループへの進化」というビジョン達成に向けて、経営基盤の強化を加速させ、成長戦略を進めています。事業面では、「既存事業の収益拡大」と「脱炭素社会の実現に寄与する新規事業創出」の両輪で収益性の向上を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績については、石油製品市況の低下に伴い販売単価が下落したものの、石油類や電力の販売数量増加により、売上高は2,375億53百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

その一方、損益面は、電力事業において、2023年11月13日に公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、前連結会計年度に調達した相対電源を、低位で推移する卸電力市場価格の影響を受けた「逆ザヤ」での売却を余儀なくされたことなどにより売上総利益が悪化し、営業損失22億2百万円（前年同四半期は同4億65百万円）、経常損失15億62百万円（前年同四半期は同2億30百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失については、前連結会計年度に計上した固定資産売却益の剥落により、21億64百万円（前年同四半期は同7億76百万円）となりました。

なお、電力事業については、価格変動リスクを最小化するべく、今後の実施体制の見直しを行いました。B t o B事業においては、市場連動型プランへの移行の推進を図る一方、B t o C事業においては、他社のバラシンググループ（複数の小売電気事業者が1つのグループを形成し、一般送配電事業者との間で1つの託送供給規約を結ぶ仕組み）に参加し、電源調達と需給管理を委託することで、需給バランスの最適化を図っていきます。

セグメント毎の取り組み状況は次のとおりです。

[エネルギー卸・小売周辺事業（B t o C事業）]

売上面は、主力の「L Pガス・灯油販売」において、平均気温が平年と比較して高くなったことで販売数量が低調に推移し、減収となりました。

損益面は、電力事業の売上総利益の悪化があった一方、主力のL Pガス販売において前連結会計年度に行った価格改定の寄与を中心に、赤字幅が縮小しました。

なお、第三次中期経営計画で示した顧客数拡大に向けた新たな取り組みとして、C O 2排出量を実質ゼロとする「ミライフカーボンニュートラルL Pガス」の販売を第2四半期連結会計期間より開始しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるエネルギー卸・小売周辺事業（B t o C事業）の売上高は486億82百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業損失は4億95百万円（前年同四半期は営業損失8億39百万円）となりました。

[エネルギーソリューション事業（B t o B事業）]

売上面は、主力の石油事業において、石油製品市況の低下に伴う販売単価の下落があった一方、電力事業においては市場連動型プランにおける新たな大口顧客の獲得などにより、増収となりました。

損益面は、前述した電力事業における売上総利益の悪化が大きく影響したことに加え、前連結会計年度好調だった石油事業の売上総利益が平年並みの水準に戻ったことにより、赤字幅が拡大しました。

なお、オフサイトコーポレートP P Aによる再生可能エネルギー電力の供給開始やC O 2排出量削減に寄与する次世代バイオディーゼル燃料の取り扱い開始など、第三次中期経営計画で示した「電力・再生可能エネルギーなど総合エネルギーサービスへのポートフォリオ転換」に向けた取り組みを進めています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるエネルギーソリューション事業（B t o B事業）の売上高は1,736億95百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業損失は23億35百万円（前年同四半期は営業損失1億83百万円）となりました。

〔非エネルギー事業〕

非エネルギー事業全体としては、自転車事業が好調に推移したことなどにより、増収増益となりました。

事業別の状況は、次のとおりです。

自転車事業（シナネンサイクル株式会社）は、前連結会計年度後半より実施した価格改定の寄与に加えて、プライベートブランド製品の販売強化やコンテナ導入による新規法人開拓を推進し、増収増益となりました。

シェアサイクル事業（シナネンモビリティPLUS株式会社）は、シェアサイクルサービス「ダイチャリ」の拠点開発を推進するとともに、埼玉県蕨市など新たな地方自治体との実証実験を開始しました。2023年12月末現在、ステーション数3,400カ所超、設置自転車数12,000台を超える規模まで拡大し、増収増益となりました。また、他社のメンテナンスを担う体制を構築し、HELLO CYCLING全体の運営品質の向上を推進しています。なお、2023年11月に東京都にて開催された自転車イベント「レインボーライド」にて電動アシスト自転車800台を貸し出すなど、第三次中期経営計画で示した「新たな収益源の創出」に向けた取り組みを進めています。

環境・リサイクル事業（シナネンエコワーク株式会社）は、新設住宅着工戸数の伸び悩みによる建設系廃木材の搬入量減少に加え、運送費などの販売変動経費や新たな環境関連事業の開発に伴う販管費の増加により、減収減益となりました。

抗菌事業（株式会社シナネンゼオミック）は、中国経済の低迷に起因する海外向け需要減少の影響があった一方、国内向けの販売が順調に推移しており、全体では増収増益となりました。なお、フィンランド発の天然系抗菌剤の独占販売代理契約を締結するなど、新たな取り組みを進めています。

システム事業（株式会社ミノス）は、主力のLPガス基幹業務システムが安定的に貢献し、前年同四半期並みの収益となりました。なお、顧客情報システム（電力CIS）については、市場の変動に応じて価格・サービスを調整する市場連動機能を構築するなど、新たな開発を随時進めています。

建物維持管理事業を手掛けるグループ4社は、2023年10月よりシナネンアクシア株式会社として統合し、総合建物メンテナンス会社として、新たなスタートを切っています。当第3四半期連結累計期間は、集合住宅の建物メンテナンス業務のエリア拡大に加え、斎場・病院など施設運営業務が好調に推移し増収となった一方、統合に伴う販管費の増加などが影響し、減益となりました。なお、第三次中期経営計画で示した「業務エリアのさらなる拡大」に向けて、埼玉エリアにおいて新たな拠点開設を準備しています。また、大型物件の管理開始など「安定収益の確保」に向けた取り組みの成果も現れています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における非エネルギー事業の売上高は150億5百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は6億58百万円（前年同四半期比36.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末と比較して79億80百万円増加し、1,093億30百万円となりました。主な要因は、季節変動に伴う売上債権の増加65億64百万円、評価替等による投資有価証券の増加12億33百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して102億44百万円増加し、579億63百万円となりました。主な要因は、季節変動に伴う買入債務の増加97億94百万円によるものです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上が21億64百万円、利益剰余金の配当により8億20百万円減少等により、前連結会計年度末と比較して22億63百万円減少したため、513億67百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較し5.9ポイント減少し、47.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月13日に公表した業績予想数値に変更はありません。

なお、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、当社グループの従業員に人的被害は生じていませんが、業務委託先にて1名の方が避難生活中に亡くなられた可能性があり、調査中です。その他関係各所で被害に遭われた方々を含め、当社グループとして出来る限りの支援を行っていきます。また、被災地域において太陽光発電設備等の損傷など、物的被害が確認されています。引き続き、現地の調査を進めるとともに、サプライチェーンを含め、復旧支援に努めていきます。

今後、状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,227	10,387
受取手形、売掛金及び契約資産	36,451	43,016
商品及び製品	5,898	6,381
仕掛品	2,114	1,459
原材料及び貯蔵品	50	47
その他	4,069	4,789
貸倒引当金	△50	△72
流動資産合計	58,760	66,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,335	6,237
土地	11,075	10,997
建設仮勘定	2,364	2,429
その他（純額）	8,530	8,723
有形固定資産合計	28,306	28,387
無形固定資産		
のれん	1,732	1,515
その他	933	1,054
無形固定資産合計	2,665	2,569
投資その他の資産		
投資有価証券	7,399	8,632
長期前払費用	1,425	1,557
その他	4,325	3,602
貸倒引当金	△1,534	△1,428
投資その他の資産合計	11,616	12,364
固定資産合計	42,589	43,321
資産合計	101,350	109,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,196	36,991
短期借入金	2,949	3,835
未払法人税等	959	448
賞与引当金	873	543
その他	7,091	7,820
流動負債合計	39,071	49,639
固定負債		
長期借入金	2,472	2,150
役員退職慰労引当金	19	13
退職給付に係る負債	555	564
資産除去債務	619	563
その他	4,980	5,033
固定負債合計	8,646	8,323
負債合計	47,718	57,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,630	15,630
資本剰余金	7,753	7,757
利益剰余金	34,062	31,078
自己株式	△5,473	△5,467
株主資本合計	51,973	48,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,489	2,263
繰延ヘッジ損益	49	19
為替換算調整勘定	104	65
その他の包括利益累計額合計	1,642	2,348
非支配株主持分	15	21
純資産合計	53,631	51,367
負債純資産合計	101,350	109,330

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	235,397	237,553
売上原価	211,813	215,302
売上総利益	23,583	22,251
販売費及び一般管理費	24,049	24,453
営業損失(△)	△465	△2,202
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	200	182
為替差益	48	91
受取保険金	23	227
その他	336	265
営業外収益合計	635	789
営業外費用		
支払利息	61	60
持分法による投資損失	246	-
その他	93	89
営業外費用合計	400	149
経常損失(△)	△230	△1,562
特別利益		
固定資産売却益	2,353	12
その他	2	-
特別利益合計	2,356	12
特別損失		
固定資産除却損	48	32
のれん償却額	409	-
減損損失	2,004	21
その他	108	3
特別損失合計	2,571	58
税金等調整前四半期純損失(△)	△445	△1,608
法人税等	1,023	543
四半期純損失(△)	△1,468	△2,152
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△776	△2,164
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△692	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234	774
繰延ヘッジ損益	54	△30
為替換算調整勘定	68	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	9	-
その他の包括利益合計	366	699
四半期包括利益	△1,102	△1,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△423	△1,458
非支配株主に係る四半期包括利益	△678	6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

（表示方法の変更）

（四半期連結損益及び包括利益計算書）

従来、営業外収益の区分に表示していました「保険返戻金」は、実態をより適切に表示するために表示科目の見直しを実施し、当第3四半期連結会計期間より「受取保険金」に科目名称を変更しています。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の四半期連結損益及び包括利益計算書において「保険返戻金」に表示していた23百万円を「受取保険金」23百万円として表示変更しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	エネルギー 卸・小売周辺 事業 (B to C事 業)	エネルギー ソリューション事業 (B to B事 業)	非エネルギー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,538	167,844	13,840	235,224	172	235,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	397	9,164	428	9,990	△9,990	—
計	53,936	177,009	14,269	245,215	△9,817	235,397
セグメント利益又は損失 (△)	△839	△183	483	△539	74	△465

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額172百万円は、当社が管理している不動産賃貸収入に係る売上であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額74百万円には、上記1のほか、セグメント間取引消去2,382百万円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,480百万円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	エネルギー 卸・小売周辺 事業 (B to C事 業)	エネルギー ソリューション事業 (B to B事 業)	非エネルギー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,682	173,695	15,005	237,383	170	237,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74	11,230	387	11,692	△11,692	—
計	48,756	184,926	15,392	249,075	△11,522	237,553
セグメント利益又は損失 (△)	△495	△2,335	658	△2,172	△29	△2,202

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額170百万円は、当社が管理している不動産賃貸収入に係る売上であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△29百万円には、上記1のほか、セグメント間取引消去2,421百万円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,620百万円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)と調整を行っています。

(重要な後発事象)

(令和6年能登半島地震の影響について)

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、被災地域において太陽光発電設備等の損傷など、物的被害が確認されています。被害の状況について調査中であり、損害額、復旧に要する費用及び業績に与える影響については、現時点では未確定です。